

第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会

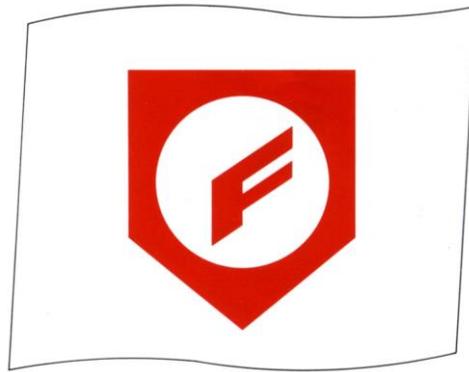
令和 3 年 7 月 3 日（土） ～ 7 月 18 日（日）

主 催 : 一般財団法人
沖縄県高等学校野球連盟
: 朝 日 新 聞 社
後 援 : 沖縄県教育委員会

会 場 : 沖縄セルラースタジアム那覇
: コザしんきんスタジアム
: アトムホームスタジアム宜野湾
: タピックススタジアム名護

大会要項

2021 年 6 月 5 日改訂



一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 大会要項

主 催 ・ 一般財団法人 沖縄県高等学校野球連盟
・ 朝日新聞社

後 援 ・ 沖縄県教育委員会

1. 期 日 令和3年7月3日(土) ～ 7月18日(日)雨天順延

2. 会 場 沖縄セルラースタジアム那覇 那覇市奥武山町4-2-1
コザしんきんスタジアム 沖縄市諸見里2-1-1
アトムホームスタジアム宜野湾 宜野湾市真志喜4-2-1
タピックススタジアム名護 名護市宮里2-1

3. 大会申し込み 本大会に参加を希望する加盟校は、沖縄県高野連 HP (<http://www.kouyaren-okinawa.jp/>) に掲載されている所定の選手資格証明書を15部(押印はコピーした後に行うこと。)作成し下記宛に提出して下さい。◎印なども忘れずに記入して下さい。なお、独自に作成した証明書を提出した場合は、再提出をお願いすることになりますのでご注意ください。

また、用紙サイズはB4サイズとなりますのでご注意ください。

提出先 〒901-2224 宜野湾市真志喜2-25-1 宜野湾高校内
沖縄県高等学校野球連盟 理事長 中村 健 宛

4. 申し込締切り 令和3年6月7日(月) 正午までに提出、以後は理由を問わず受け付けない。
※同期日までに、データ(Excelファイル)を、高野連事務局の電子メールアドレスまで電子メールにて添付送信して下さい。

5. 抽 選 会 期日：令和3年6月8日(火)午後2時
会場：かでな文化センター 〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納588番地
TEL：098-956-1112

①参加者は各参加校の責任教師および監督(各校2名以内)、大会役員。
②抽選に当たってはシード制を採用する。(1.具志川商業、2.興南、3.沖縄尚学、4.美里工業)

6. 大会諸経費 ①入場整理券をもって充当する。大人600円・中高生200円
②剰余金が生じたときは、本連盟運営費に繰り入れ、不足の際は同運営費から充当。

7. 大会組織 ①参加校は日本高等学校野球連盟に加盟している学校代表チームによって行う。
及び運営 ②主催者で運営委員会を組織し、大会運営に万全を期す。
③大会役員は運営委員会で適任者を選び委嘱、審判委員は県高野連審判部が担当する。

8. 登録変更 申し込み終了後の選手登録変更は、開始式の前までとする。
について 所定の様式1(登録選手変更届)で10部提出すること。その後の変更は認めない。
提出先：開始式当日はコザしんきんスタジアム、それ以前は沖縄県高野連事務局
担 当：上間 理博(副理事長)

9. 表彰及び派遣 ①優勝校へは賞状、優勝旗、優勝楯、メダルを授与する。
②準優勝校へは賞状、準優勝楯、メダルを授与する。
③本大会の優勝校を、8月9日(月)から17日間、阪神甲子園球場で開催される、
第103回全国高等学校野球選手権大会に沖縄代表として派遣する。

10. 大会本部 ①県高野連事務局(宜野湾高校内) ☎ FAX 098-890-3158 大会前又は試合のないとき
②朝日新聞那覇総局 ☎ 098-867-1972 ・ FAX 098-863-8545

11. 開 始 式 令和3年7月3日(土) 午前8時15分 コザしんきんスタジアム

▼雨天時は、コザしんきんドームで行う。

12. 閉 会 式 決勝戦終了後、優勝、準優勝の両校で行う。(沖縄セルラースタジアム那覇)

第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 細則

1. 試合規則は、2021年公認野球規則と大会特別規定により運営する。
2. 選手資格は、令和3年4月2日現在で満18才（平成15年＝2003年4月2日以降の出生者）以下の者。
3. 大会期間中の不測の負傷または疾病に対して、主催者は応急の手当を施す他は責任を負わない。
4. 第1試合の出場チームは、試合開始90分前には所定の球場に到着し、大会本部よりオーダー用紙を受け取り記入後、直ちに提出すること。その後放送により責任教師・主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。（オーダー用紙交換は試合開始50分前に行なう。）
5. 第2試合目以降の出場チームは、球場到着後、大会本部でオーダー用紙を受け取り、4回終了までに大会本部に提出すること。オーダー用紙交換は5回終了後に行なう（放送を行なう）。責任教師と主将は本部役員・審判委員の指示に従って攻守を決める。選手はいつでも試合ができるよう準備をしておくこと。
6. ベンチサイドは、抽選番号の若いチームを一塁側とする。
ベンチには登録の責任教師1名、副責任教師1名、監督1名、選手20名、記録員1名の計24名以内とする。
7. 責任教師か副責任教師がノックした後は、平服に着替えベンチに入ること（高野連スタッフシャツも可）。
8. 試合前のシートノックは7分間。ノック時の補助選手は5名までとし、必ずヘルメットを着用すること。又、登録メンバー以外は、ノックを受けたり守備に入ってはいけない。
9. シートノック時のノッカーは、選手と同じユニフォームを着用し、黒または白のスパイクおよびシューズとする。補助選手も試合用ユニフォームを着用すること。
10. 記録員は男女にかかわらず、自校の制服を着用すること。複数の記録員のいる場合は毎試合代わってもよい。
11. 打者・走者ともに危険防止のため、必ずSGマーク（経産省認可）両耳付きヘルメットを着用する。
12. 捕手は防護用ヘルメット（SGマーク付）とスロートガード（のど部分の防護具）、カップを必ず使用すること。また、練習時を含め、捕手は座って投球を受けるときは必ず捕手用具一式を着用すること。
13. 試合中、攻守交代は全力疾走に徹すること。
14. 攻撃側の選手は、次打者・ランナーコーチ以外はベンチから出ないこと。次打者席には、必ず次打者が入り、投手が投球姿勢に入ったなら素振りを止める。危険防止のため、グラウンド内にいる全ての選手（特に次打者、ブルペンの選手）は投手が投手板に位置したならばプレイに注目すること。
15. ベンチ内のメガホンは1個のみとする（監督のみ使用）。
16. グラウンドに入ってアップを開始するときは、試合用のユニフォームを着用すること。人員は25名以内とする。
17. 危険防止のため、球場内におけるフリーバッティング、ハーフバッティングは禁止する。また、球場内においてのウォーミングアップ及びランニングで外野の芝生を使用する際は、アップシューズを使用すること。
18. 試合中、ベンチ前でのキャッチボールは2組（4人）まで並列とし、ゴロの捕球練習は認めない。
19. 野球用具の使用については、日本高等学校野球連盟の用具使用制限に適合したものをを使用すること。
《応援団について》
 1. 大会期間中の応援団の行動は、責任教師がその責任を負う。
 2. 手指消毒の徹底やソーシャルディスタンスの確保など感染拡大防止に努めること。
 3. プラスバンドでの応援、声を出しての応援や指笛、管楽器の使用を禁止する。
太鼓については、洋太鼓・和太鼓いずれかを1個とする。
 4. 応援団は、試合中は場内の整理と感染拡大防止、試合終了後はスタンドの清掃と消毒に協力する。
 5. 個人名や校名を記入したノボリ等、テープ・紙ふぶき等、タオル等を振り回しての応援は禁止する。
 6. 応援団の校章旗・横断幕等は指定場所に掲げること。

大会特別規定

1. シートノックは試合前、大会本部の指示に従い行うこと。制限時間は7分間とする。但し、時間の都合で、短縮または行わないこともある。シートノックの補助員5名以内と補助ノッカー(登録外)1名を認める。
2. 本大会はタイブレーク制度を採用する。タイブレークは13回、無死1塁・2塁からとし、打順は12回終了時の打順を引き継ぐものとする。(決勝戦もタイブレークを適用する)
3. 1週間500球以内の投球とする。
4. 本大会では、コールドゲームを次のとおり定める。
 - ①得点差によるものは、5回以降10点以上、7回以降7点以上の得点差が生じた場合。
 - ②降雨または日没、その他の事情で試合の続行が不可能になった場合は、審判委員が試合の打ち切りを命じ、両チーム共に7回の攻撃を完了するか、或いは先攻チームが7回を終わった得点より後攻チームの6回までの得点が多い場合はコールドゲームを適用する。6回以前であればノーゲーム(再試合)とする。
 - ③決勝戦では、コールドゲームを適用しない。
4. 最終試合の開始時刻は日没2時間30分以前とするが、当日の天候その他を考慮して主催者が決定する。また、日没15分前からは新しいイニングに入らない。
5. 降雨中断後、30分毎に判断し、グラウンド整備を行ない90分をめどに試合続行が可能な場合は再開し、不可能と判断した場合は中止とする。
6. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判委員が判断した時は、相手チームに事情を説明し臨時の代走者を許可することができる。この代走者は試合に出場している選手に限られ、チームに指名権はない。
 - ・臨時代走はその代走者がアウトになるか、得点するか、またはイニングが終了するまで継続する。ただし、塁上にいる臨時代走者が次打者となるケースにおいては、その臨時代走者に代えて打撃を完了した直後の者を新たな臨時代走者とする。
 - (1) 打者が死球などで負傷した場合
投手を除いた選手のうち、打撃を完了した直後の者とする。
 - (2) 塁上の走者が負傷した場合
投手を除いた選手のうち、その時の打者を除く打撃を完了した直後の者とする。(参考) 臨時代走者の記録上の取り扱いは、盗塁、得点、残塁などすべてもとの走者の記録として扱われる。
7. 審判委員の判定には、絶対に抗議することはできない。但し、ルール適用の過ちがおきた場合は申し出ることができる。疑義を申し出る場合は主将、伝令、または当該選手に限る。
8. 審判委員へのアピールは、必ず主将及びそのプレーの当事者が行なうこと。
9. 試合中トラブルが生じ、試合続行が不可能な場合は、トラブルを引き起こしたチームを敗者とし、没収試合とする。
10. 打者がバッターボックスに入る時や投手が審判委員からボールを受け取る際は、帽子を取って礼をする必要はない。
11. 試合中は、ベンチ入りできない者(登録選手以外の部員・OB・保護者等)をベンチや選手控え室に出入りさせたり、ベンチ周辺に近づけない。
12. 携帯電話はベンチに持ち込まない。
13. 走者やベースコーチ等が捕手のサインを見て、声やジェスチャーで打者にコースや球種を教える等の行為を禁止する。
14. サイズの大きい走者用手袋の使用とグラブの手首へのリストバンド装着は認めない。

第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会 開催細則

1. 開 始 式

- 1 令和3年7月3日(土)午前8時15分、コザしんきんスタジアム(雨天時は、コザしんきんドームで行う)
- 2 参加選手は、7月3日(土)当日、コザしんきんスタジアムの第1試合の2チームの登録選手、責任教師(正副)、監督、マネージャー(1人)とする。
- 3 選手は各チームのユニフォーム(帽子、アンダーシャツ、ストッキング等を含む)は規定のとおり同一に揃える。スパイクは黒または白のいずれでも良い。
- 4 選手の背番号は登録のとおりにする。
- 5 開始式参加選手は8時10分にユニフォーム着用のうえ、投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 6 大会役員、審判委員、来賓及び各学校の校長、責任教師(正副)、監督は8時10分にバックネット前に整列する。

開始式式次第

進 行 新 垣 健 一 (高野連総務部長)

- 1 選 手 整 列 両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列。
- 2 開 式 通 告
- 3 大 会 長 挨 拶 大 会 長 川 畑 三 矢 (高野連会長)
- 4 選 手 宣 誓 ◎組合せ抽選会で、選手宣誓を希望する学校の主将が行う。
(選手宣誓を希望する主将が複数ときは抽選を行う)
※希望者がいないときは、宣誓クジを引き当てた学校の主将が行う。
- 5 閉 式 通 告

2. 閉 会 式 (沖縄セルラースタジアム那覇)

- 1 決勝戦終了後、優勝チーム、準優勝チーム、大会役員、審判委員、来賓で行う。
- 2 決勝戦が終わり次第、両チームの選手は投手板を中心にバックネットに向かって一列横隊に整列する。
- 3 大会役員、審判委員、来賓及び両校の校長、責任教師(正副)、監督はバックネット前に整列する。

閉会式式次第

進 行 新 垣 健 一 (高野連総務部長)

- 1 開 会
- 2 成 績 発 表
- 3 表 彰 大 会 長 川 畑 三 矢 (高野連会長)
- 4 大 会 長 挨 拶 大 会 長 川 畑 三 矢 (高野連会長)
- 5 激 励 の こ と ば 大会副会長 木 村 司 (朝日新聞那覇総局長)
- 6 閉 会 宣 言 大会副会長 新 城 英 人 (高野連副会長)

※ 閉会式後、優勝、準優勝チームはダイヤモンドを一周する。

第103回全国高等学校野球選手権沖縄大会 競技役員

顧問	知念 繁夫 新屋 太郎 宜野座 嗣郎 國吉 眞介 宮里 景眞 狩俣 幸夫 砂川 恵重 赤嶺 研雄 我如古 清 玉城 崇 志良堂 芳男 前新 健 神谷 孝 森田 邦弘 前新 出 上原 昇 平良 章次 金城 弘昌 (県教育委員会教育長) 木村 司 (朝日新聞社那覇総局長) 遠藤 孝康 (毎日新聞那覇支局長)
参加校校長	城間 敏生 (県教育庁保健体育課長)
大会 長	川 畑 三 矢 (県高野連会長)
大会 副 会 長	新 城 英 人 (県高野連副会長) 屋 良 淳 (県高野連副会長) 外 間 昌 繁 (県高野連副会長) 木 村 司 (朝日新聞那覇総局長)
運 営 委 員 長	中 村 健 (県高野連理事長)
運 営 委 員 長 補	上 間 理 博 (県高野連副理事長)
運 営 副 委 員 長	町 原 尚 忠 (県高野連常任理事) 渡久地 政 国 (県高野連常任理事) 照 屋 圭 二 郎 (県高野連常任理事) 上 原 健 吾 (県高野連常任理事) 名 渡 山 直 子 (県高野連常任理事)
運 営 委 員	
総 務 部 部 長	新垣 健一
総 務 部 副 部 長	瀬底 智樹、 徳山 篤史、 國吉大志
技 術 部 部 長	川上 琢也
技 術 部 副 部 長	田里 友哉、 米須 清祐、 川平 優次
審 判 部 部 長	多嘉山 太
審 判 部 副 部 長	西銘 健一、 山城 明男、 島袋俊哉
記 録 情 報 部 部 長	神里 大 一
記 録 情 報 部 副 部 長	仲間 広美、 佐久原 大志、 伊藝修策

競技役員

	城間恒寿	中村敦	藤木淳平		宮里淳	城間克也	狩俣和也
	中本昌弥	津山嘉都真			真玉橋長郎	森本裕也	照屋実理
	砂辺紗綾	高良耕平			松元輝	濱元良人	
	當銘樹	比嘉智二	中地さくら		山城和也	上原正昭	
	西村レオナ	知念邦睦	宮城佳輔		下地克也	宮城隼人	山田義二
	安富大志	岸本拓馬	玉城幸哉		山城芳則		
	外間勝				大城英健	比嘉公也	伊志嶺大吾
	宮里義浩	新垣隆夫	宮城岳幸		神山哲	喜瀬民男	崎浜秀哉
	森澤征一郎	上原達也	鳥羽弘康		吉元嘉邦	大川基樹	糸数辰信
	新川将太	伊波大吾	東佳奈子		親川聖	津波章太	
	前濱範一	津留直樹			町田宗毅	金武孝代	
	藏本哲雄	東亮	大濱方志		大城康成	洲鎌弘樹	仲川和充
	仲宗根寛史	仲與根清十郎			仲里武史	石塚年勝	
	大嶺祐介	仲里真澄	慶田城剛		嘉数節	伊禮隼	岸本亘史
	大浦陸	島袋春樹	兼城翔太		天願恒	照屋拓己	
	大城貴宏	喜舎場正太	伊禮直浩		親泊達也	具志堅興律	
	西野僚真	宜志富薫	與那城吾郎		翁長淳	瀬名波幹智	
	宮里健二	知名淳			長濱隆史	町田幸男	
	知念正仁	田原伸繁	玉元大輔		神里正太	大城一基	上原忠
	浦添広志	神谷嘉宗			川満翔太	仲宗根聖子	比嘉和也
	上地愛美				呉屋大輔		
	津波直仁	與儀正	豊原啓人		眞玉橋元博	山城元子	伊保珠菜
	上原拓	川満亨	富里くらら		山内一尚	大城浩二	
	比嘉秀策	嶺井政彦	當銘葵		宮里友也	平良隆訓	糸数昌之
	仲吉誠	大蔵宗元	嘉陽宗雄		大城貴史	大城盛隆	仲里裕太
	福中直人	奥田誠吾	山城学		平良栄二	栗國優貴子	
	池宮城朗				玉城英之	前川等	仲里裕樹
	比嘉繁遵	新垣隆			伊舎堂英樹	赤堂秀馬	伊集幹郎
	仲里健	金城聡	平良博志		小波津尚志		
	大嶺真	城間直美	前泊聡		新里拓	兼島兼哲	小林大隼
	神里武弥	野原潤一			上原八重子	新里和久	渡久山玄介
	安里利光	我喜屋優	砂川太		内間忍	大浜英康	
	池間忠彦	島袋洋奨			友利佳史	眞玉橋治	崎山留美
	藤井智	阿波連仁			大城康弘	岸本幸彦	
	金城幸伸	川平優次	砂川歩		前城大悟	神山剛史	瀬名波敦
	新田伸	山鹿勝廣			浅利賢宏	五十嵐康朗	田中康二
	富川盛章	安里大作	岸本敬	外間一先	仲本賢一郎	末吉昇一	仲松志朗
	金城朋奈	中山慎	多和田真	伊計千夏	福原修	森みさき	伊良波泰

第 103 回全国高等学校野球選手権沖縄大会

審判委員

審判委員長 多嘉山 太 (県高野連審判部部長)
 審判副委員長 西銘 健一 (県高野連審判部副部長)
 山城 明男 (県高野連審判部副部長)
 島袋 俊哉 (県高野連審判部副部長)
 審判幹事 平良 章次 島袋 恭一 国仲 吉川 町田 幸男
 譜久村 淳一 安富 薫 比嘉 安孝 玉代勢 秀人
 座喜味 治 国仲 直彦 玉城 健

審判委員 沖縄県高等学校野球連盟 審判部

多嘉山 太	山城 明男	島袋 俊哉	西銘 健一
平良 章次	島袋 恭一	国仲 吉川	町田 幸男
譜久村 淳一	安富 薫	比嘉 安孝	玉代勢 秀人
座喜味 治	国仲 直彦	玉城 健	喜納 清一
西村 洋	真壁 朝善	屋宜 充	宮里 一浩
我喜屋 宗彦	澤岷 安邦	喜友名 功博	上原 幸光
嘉数 正重	島袋 英治	兼次 誠	大城 拓郎
仲本 盛和	金城 明広	玉城 弥	大浜 僚真
平田 英樹	平良 朋成	下里 大健	西野 陽宗
野原 大輝	西江 大忠	山田 健興	嘉嶺 井政
福原 修恒	又吉 博志	具志堅 潤一	津留 直樹
天願 健聖	外間 先訓	田原 伸博	嘉数 節伸
中村 等淳	平良 隆泰	眞玉橋 元嘉	新城 達也
親川 樹	伊良波 春樹	吉宮 里博	金奥 誠吾
知名 基樹	照屋 圭二郎	宮上 間勝	石塚 年勝
大川 民男	照屋 拓己	外間 宗毅	真玉橋 善之
喜浦 添正	川満 宗元	町田 城亮	島長 篤史
知念 正仁	大蔵 成隆	金城 幸哉	徳山 栄二
安座間 竜作	大城 盛也	玉城 良人	平安 大志
田里 友哉	山城 弘也	濱元 浩二	上原 健吾
川上 琢也	大城 康弘	大城 地国	仲里 真大
國吉 大志	津山 嘉都	渡久地 貞俊	安里 大作
宮城 岳幸	宮里 健二	山里 原啓	佐久原 大志
神里 大拓	高良 耕平	豊原 賢一郎	安富 勇人
上原 弘樹	伊藝 修樹	仲本 裕介	宮里 友也
洲鎌 祐介	伊當 銘拓	金城 一基	川平 優次
大嶺 真	岸本 拓馬		
	赤堂 秀馬		

選手宣誓について

開始式における「選手宣誓」は立候補制にしています。抽選会において宣誓を行いたい主将に立候補をしてもらい、複数の立候補があるときは抽選を行い選手宣誓者の決定をいたします。

それに伴い、久米島、宮古地区、八重山地区について抽選会に出席できない者は、大会役員が「代理抽選」を行いますので、選手宣誓を希望する主将は下記「選手宣誓立候補届」に必要事項を記入のうえ提出して下さい。(抽選会に出席する学校は提出する必要はありません)

※提出は、第103回全国高等学校野球選手権沖縄大会「選手資格証明書」(申込み)と同封して下さい。(各学校割り当て旅費にてご対応をお願いします)

切り取り線

選手宣誓立候補届

2021年 月 日

一般財団法人

沖縄県高等学校野球連盟

会長 川畑三矢殿

高等学校

ふりがな

野球部主将 氏名

(年生)

本校野球部主将が、第103回全国高等学校野球選手権沖縄大会の開始式で選手宣誓することを申し込みます。

学校名 _____ 高等学校

校長 _____ 印

一般財団法人 沖縄県高等学校野球連盟

会 長 川 畑 三 矢 殿

高等学校

校 長

印

V T R ・ 写 真 撮 影 等 撮 影 許 可 願 い

標記の件、本校の（資料保存用・アルバム用）に、下記要領にて撮影いたしたく許可
下さいますようお願い致します。

なお、上記目的以外に映像を有償頒布したり、主催者に無断で他の目的には使用致しませ
ん。

記

1. 大 会 名 第103回全国高等学校野球選手権沖縄大会
2. 撮 影 期 日 令和3年 月 日（ ） ～ 月 日（ ）
3. 撮 影 項 目 V T R 撮 影 ・ スチール（写真）撮影
4. 撮 影 委 託 業 者
 - ・ 業 者 名
 - ・ 代 表 者 名
 - ・ 撮 影 者 氏 名
 - ・ 連 絡 先 ・ 会 社 :
 - ・ 携 帯 :